

Weekly Bulletin 2016-2017



RI会長
ジョンF.ジャーム



人類に
奉仕する
ロータリー

静岡東ロータリークラブ

会長／大村幸代 幹事／細川俊彦

事務局／静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場／ホテルアソシア静岡 例会日／毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
大村幸代

第 2798 回例会

(静岡市内7クラブ合同例会)

平成 29 年 2 月 7 日 天候 晴

《司 会》 竹下 昌宏 君(静岡南 RC)

《合 唱》 「君が代」
「奉仕の理想」

《講 師》 久能山東照宮 宮司 落合偉洲 氏

《参加クラブ会長紹介 & 出席報告》

参加クラブ会長

・静岡 RC	久保田 隆	会長
・静岡東 RC	大村 幸代	会長
・静岡南 RC	赤井 正明	会長
・静岡日本平 RC	辻村 宜孝	会長
・静岡西 RC	沼田 時子	会長
・静岡中央 RC	南條 恭有紀	会長
・静岡北 RC	前野 克己	会長

各クラブの出席数

・静岡 RC	63 名
・静岡東 RC	34 名
・静岡南 RC	17 名
・静岡日本平 RC	31 名
・静岡西 RC	25 名
・静岡中央 RC	35 名
・静岡北 RC	22 名
合 計 227 名	

《ホストクラブ会長挨拶要旨》

静岡南 RC 赤井 正明 会長

皆様今日は市内7クラブ合同例会に出席を頂きましてありがとうございます。

ホストクラブ会長の赤井正明でございます。

立春が過ぎたとはいえまだ春遠く寒さが続いておりますが、本日は年一回の7クラブ合同例会です。この合同例会がクラブ同士の繋がりとな



タリアンの友情を深める機会となることを願っております。

さて本日の講演は「徳川家康公と久能山東照宮」と題して東照宮宮司の落合偉洲先生の講演です。

徳川家康公はもともと弱小な一地方豪族の子だったため幼少時代は人質として過ごしましたが、豊臣政権下では五大老の筆頭にまでなりついに豊臣氏を滅ぼし江戸幕府を開いた戦術の達人です。一方で生活は質素で常日頃健康に留意し、外国の薬学などに精通し当時としては75歳と長寿を全うしました。

我々地元の企業人として本日の落合先生のお話が、何か地域に役立てられるヒントになればと願っております。



《講演要旨》

「徳川家康公と久能山東照宮」

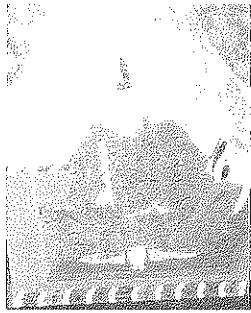
久能山東照宮 宮司 落合 偉洲 氏

家康公は、慶長12年(1607)大御所として駿府に入った。林羅山は26歳で公の侍講となって、公の同行し、公蒐集書籍を整理して図書館「駿河文庫」を作り、銅活字で本の出版などをおこなった。家康公の天下泰平の国造り



の基本は、文教政策で「人倫の道 明らかならざるより 自ずから世も乱れ国も治まらずして騒乱止む無し。この道理を論し知らんとすれば、書籍より外にはなし。」(『武野燭談』)ということにあった。

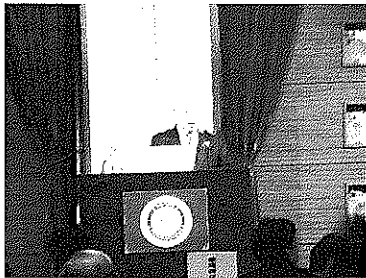
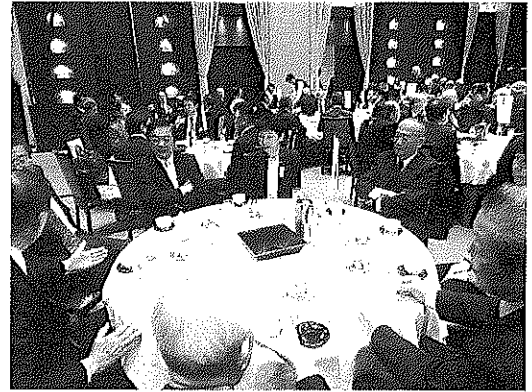
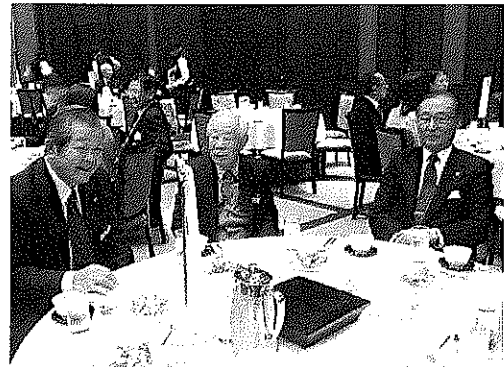




また公の外交基本は、平和外交であり、軍事、戦争を避けて、経済振興による国の平和的發展を標榜するものであった。そのことを雄弁に物語る、スペイン国王から家康公が寄贈を受けた西洋

時計が、久能山東照宮博物館に伝来する。

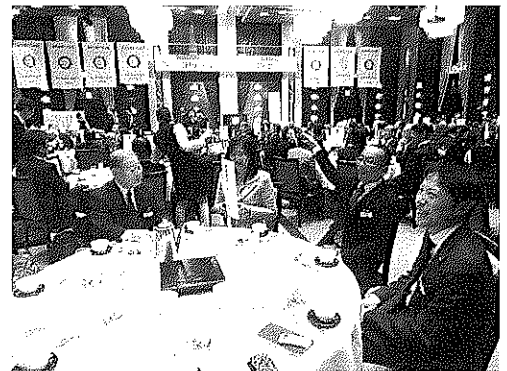
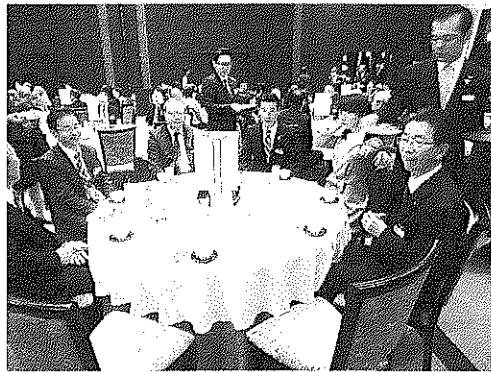
家康公の文教政策と特に洋時計に焦点を当て、外交政策を中心に話を組み立てた。



また、米沢藩主、上杉鷹山公に纏わるエピソードを元に、心豊かな東北農村風景を紹介した。

徳川家康公や徳

川時代の正しい理解のお役に立てる講演となれば幸いである。



《お礼の言葉》

静岡南RC 赤井 正明 会長

戦国を制した徳川家康公は戦術だけでなく人間教育・人格形成などに力を注ぎロータリーの根幹である奉仕の理念をも併せ持った人であったのでしよう。

さもなければ徳川の時代はこうも長く続かなかったのではないのでしょうか。

本日の落合先生はメキシコから2日前に帰国したばかりとのことで、お疲れのところ貴重なお話ありがとうございました。

(会報作成：増田 充)